

思史の会東京図書一覧

第 29 回 (2025 年 12 月 15 日)

[赤松明彦『ヒンドゥー教 10 講』\(岩波新書、2021 年\)](#)

第 28 回 (2025 年 10 月 17 日)

[麻田雅文『日ソ戦争 帝国日本最後の戦い』\(中公新書、2024 年\)](#)

第 27 回 (2025 年 8 月 7 日)

[レイチェル・カーソン著、青樹築一訳『沈黙の春』\(新潮社、1974 年\)](#)

第 26 回 (2025 年 6 月 10 日)

[E.M.フォースター著、小野寺健訳『インドへの道』\(河出書房新社、2022 年\)](#)

第 25 回 (2025 年 4 月 11 日)

[高田宏『言葉の海へ』\(新潮社、1984 年\)](#)

第 24 回 (2025 年 2 月 4 日)

[宇野重規『保守主義とは何か』\(中央公論新社、2016 年\)](#)

第 23 回 (2024 年 11 月 18 日)

[ウリケ・シェーデ著、渡部典子訳『シン・日本の経営』\(日本経済新聞出版、2024 年\)](#)

第 22 回 (2024 年 9 月 25 日)

[河上肇『貧乏物語』\(岩波書店、1947 年\)](#)

第 21 回 (2024 年 7 月 24 日)

[宇野重規『民主主義とは何か』\(講談社、2021 年\)](#)

第 20 回 (2024 年 3 月 22 日)

[深町英夫『孫文』\(岩波書店、2016 年\)](#)

第 19 回 (2024 年 2 月 8 日)

[成田龍一『大正デモクラシー』\(岩波書店、2007 年\)](#)

第 18 回 (2023 年 11 月 15 日)

[斎藤幸平『人新世の「資本論」』\(集英社、2020 年\)](#)

第 17 回 (2023 年 9 月 12 日)

[岡本裕一郎『ポスト・ヒューマニズム テクノロジー時代の哲学入門』\(NHK 出版、2021 年\)](#)

第 16 回 (2023 年 7 月 5 日)

[渡辺尚志『武士に「もの言う」百姓たち』\(草想社、2012 年\)](#)

第 15 回 (2023 年 5 月 10 日)

[中村哲『アフガニスタンの診療所から』\(筑摩書房、2005 年\)](#)

(新型コロナで中断)

第14回 (2020年1月27日)

野中郁次郎、戸部良一、鎌田伸一他『戦略の本質—戦史に学ぶ逆転のリーダーシップ』(日本経済新聞出版、2008年)

第13回 (2019年10月2日)

E.H.カー著、原彬久訳『危機の二十年—理想と現実—』(岩波書店、2011年)

第12回 (2019年7月17日)

ピアス著、西川正身編訳『新編 悪魔の辞典』(岩波書店、1997年)

第11回 (2019年5月17日)

宇沢弘文『自動車の社会的費用』(岩波書店、1974年)

第10回 (2019年3月25日)

魯迅作、竹内好訳『阿Q正伝・狂人日記他十二篇(呐喊)』(岩波書店、1955年)

第9回 (2019年2月1日)

鹿島茂『渋沢栄一 上・下』(文藝春秋、2013年)

第8回 (2018年12月5日)

イザヤ・ベンダサン『日本人とユダヤ人』(角川書店、1971年)

第7回 (2018年10月2日)

桐野高明『医療の選択』(岩波書店、2014年)

第6回 (2018年7月31日)

デューイ著、宮原誠一訳『学校と社会』(岩波書店、1957年)

第5回 (2018年6月7日)

マキアヴェリ著、池田廉訳『君主論 新版』(中公文庫、2018年)

第4回 (2018年4月13日)

仲正昌樹『ハンナ・アーレント 全体主義の起原』(NHK出版、2017年)

第3回 (2018年2月2日)

若月俊一『村で病気とたたかう』(岩波書店、1971年)

第2回 (2017年12月26日)

森嶋通夫『なぜ日本は没落するか』(岩波書店、2010年、初出1999年)

第1回 (2017年10月25日)

中江兆民『三酔人経綸問答』(岩波書店、1965年、初出1887年)

